

没後 50 年 山内壮夫 シンポジウム

モニュメントをたくさん設置したのに、
忘れ去られた彫刻家—いま作品を読み直す

北海道出身の彫刻家・山内壮夫(1907～75)は、《希望》(カナモトホール前)や《森の歌》(札幌中島公園)など札幌を中心に数多くのモニュメントを設置しており、それらは今なお親しまれ続けています。生前には新制作派協会彫刻部や全道展の創設に関わり、精力的に美術・彫刻の振興に努めました。しかし山内の没後、残された作品が紹介される機会はほとんどありませんでした。本シンポジウムでは、没後 50 年を記念し、山内壮夫について調査研究した経験のある三人の講師が、様々な角度から作品の魅力を紹介していきます。

内容：

「10 分でわかる山内壮夫の生涯」	梅村尚幸
「山内壮夫について語り残したこと」	藤井匡
「《浮游》について」	寺地亜衣
「建築と彫刻の協働」	梅村尚幸
討論「山内壮夫の魅力とは？」	藤井、寺地、梅村

講師：



藤井 匡
(東京造形大学教授)



寺地 亜衣
(北海道立旭川美術館
学芸課長)



梅村 尚幸
(本郷新記念札幌彫刻
美術館学芸員)

1970 年山口県生まれ。九州大学文学部卒業。1995 年から 2007 年まで宇部市役所学芸員として「現代日本彫刻展」ほかの展覧会を担当。その後、日本各地での展覧会等に携わる。単著に『現代彫刻の方法』(美学出版)、『公共空間の美術』『風景彫刻』『真板雅文の彫刻＝写真』『ミニマリズム後の人間彫刻』『関係の時代の彫刻』『彫刻の場所と空間』(いずれも阿部出版)。

1980 年北海道岩見沢市生まれ。金沢美術工芸大学美術工芸学部卒業、慶応義塾大学大学院文学研究科修士課程修了。北海道立近代美術館、北海道立文学館、北海道立旭川美術館(いずれも学芸員)などを経て、2025 年より現職。主な担当展覧会に「ワンダー☆ミュージアム 夜と出会う、夜を見る」、『砂澤ビッキの詩と本棚』、『動く！飛び出す？不思議な絵画 オブ・アート展』など。

1987 年札幌市生まれ。北海道大学文学部卒業、北海道大学大学院文学研究科修士課程修了、同博士課程中退。在学中にドイツのミュンヘン大学に留学。2017 年より札幌芸術の森美術館学芸員、2021 年より一般財団法人地域創造に転出、2023 年より現職。主な担当展覧会に「札幌美術展 砂澤ビッキー風一」、『共振 一本郷新 + 北海道の現代アーティスト』、『没後 50 年 山内壮夫展』など。

山内壮夫《希望》1958 年、カナモトホール前(札幌)、クスマリカ撮影

日時：2025年 **8月6日** (水) 18:30～20:00 (開場18:00)

会場：SCARTSスタジオ(札幌市民交流プラザ2階)

札幌市中央区北1条西1丁目(地下鉄大通駅30番出口から西2丁目地下歩道より直結。徒歩2分)

料金：500円(当日会場でお支払い) 定員：80人(事前申込制)

申込方法：7月11日(金)より電話受付(先着順)

電話 011-642-5709 受付時間10:00～17:00 月曜日休館

主催：本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団) 共催：札幌文化芸術交流センター SCARTS(札幌市芸術文化財団)

録画オンライン配信 当日会場にお越しいただけなくても、講座を記録した動画をオンラインで配信期間中いつでもご覧いただけます。

配信期間：2025年8月14日(木)10:00～8月28日(木)12:00

料金：500円 申込方法：右記URLから7月11日(金)10:00より申込開始。https://chobi20250806.peatix.com

※講座当日の同時配信ではありませんのでご注意ください。※申込にはPeatixの会員登録が必要です。※8月24日(日)17:00まで申込可能です。

